



受験 番号				
氏名				

二〇二四年度 二月二日 入学試験 国語問題

国語の注意

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

答えは解答らんからはみ出さないように書きなさい。

字数の指定がある場合は、句読点や記号なども一字に数えなさい。

【試験についての注意事項】

- 1 机の上に出してよいものは、次の三つです。それ以外のものはカバンにしまってください。
 - ① シール と 受験票（机の左上におきます）
 - ② えんぴつ数本（シャープペンシルも可・色ペンやマーカー、定規は使用不可）
 - ③ 消しゴム
 - 2 次のものを持ってきた場合は、カバンにしまってください。また、休けい時間中も使用してはいけません。
 - ① 腕時計・置き時計など（音が鳴らないようにしてください）
 - ② 携帯電話・スマートフォン（電源を切ってください）
 - ③ 腕時計型の情報端末（Apple Watchなど）
 - ※ 許可なく携帯電話・スマートフォンや腕時計型の情報端末を使用した場合、不正行為とみなすことがあります。
 - 3 机の中には、何も入れないでください。
 - 4 チャイムが鳴ったら、次のことを完了してから始めてください。

問題用紙 ↓ 受験番号 と 氏名 を記入してください。
 - 5 解答用紙 ↓ 受験番号 と 氏名 を記入し、席に準備されているシールを貼ってください。
 - 6 問題についての質問は、いつさいできません。
 - 7 気分が悪くなったら、すぐに申し出てください。
- 物を落としたら、自分でひろわず、手をあげてください。

次の文章は、朽木祥『光のうつしえ 広島ヒロシマ広島』の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

※ 設問の都合により、本文の一部に改変があります。

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

問一 線①～③のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 ……線A「途方もない」B「たそがれ」の本文中での意味として最も適切なものをそれぞれの選択肢から選び、記号で答えなさい。

A 「途方もない」 ア とんでもない

イ ほかでもない

ウ 予想もつかない

エ 見当もつかない

B 「たそがれ」 ア ほとんど真つ暗で何も見えなくなるころ

イ 辺りが薄暗くなりすれ違う人の顔が見えなくなるころ

ウ 月の光で物の姿がくつきりと浮かんで見えるころ

エ 夕焼けに西の空が真つ赤に染まって見えるころ

問三 線(1)「小さな物語を丁寧に描いていくことこそが、大きな事件

を描き出す最も確かな道なのだ」とありますが、ここでいう1「小さな

物語」、2「大きな事件」とはどのようなことですか。

1 「小さな物語」について、2ページ(手紙以外)のことばをつかって答えなさい。

2 「大きな事件」について、「無辜の民」「無辜」はひらがなで書いてよい」ということばをつかって答えなさい。

問四

線(2)「耕造の絵」とありますが、耕造(希末の友人)はこの絵を描くことで何を伝えようとしていたと考えられますか。次の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 戦時下でも少女たちを元気づけるためお雛様だけは飾られていたこと。

イ 祖母は毎年少女たちのために灯籠を六つ流し続けているということ。

ウ 制服の少女たちはどの被爆者たちよりも苦しみがら亡くなっていったこと。

エ 女学校の先生と生徒たちのささやかな日常が戦争によって奪われたこと。

問五

線(3)「この絵には、俊の知る広島とあの朝の広島が同じ画面に描かれているのだ」とありますが、この絵には現在の原爆ドーム、原子爆弾を落とすアメリカの爆撃機B 29らしい飛行機、三人の人物が描かれており、その中の一人は捕らえられたアメリカ兵です。この絵にはどのようなねらいがあると考えられますか。説明しなさい。

本文全体における、吉岡先生の変化を次のようにまとめました。空らんにあてはまることばを答えなさい。

物語の冒頭の手紙の場面では、吉岡先生は大切な人を戦争で亡くし、

に対して自戒の思いをもっていた。しかし、文化祭で生徒たちの作品を見ることを通して、より一層その気持ちが強くなり恥ずかしさすら感じた吉岡先生はその死を受け入れようとする。

問七

次のA～Gは本文について生徒たちが意見を出し合ったものです。これ

を読んで、

①

⑤

について後の1〜4に答えなさい。

すね。

A 絵に添えられた

①

には一人一人の物語があつて、哀切極まり

1

①

⑤

に入ることばとして最も適切なものを

ない思いが込められていますね。だからそれぞれの物語を持つ、読んだ人の心と詠った人の心が響き合い、深い悲しみや苦しみを共にすることで励まされたり救われたりするんですね。

B 吉岡先生から「真の意味で悼む」ことを「大切な人の死を受け入れて見送ること、心に刻むこと」と言われ、希未はそれを「

②

」ことと受けとめています。ここには、自分が直接知らない人の死も受け入れ心に刻むことへの希未の気つきが読み取れますね。

4

④

うとしたのですか。

④

にあてはまるように答えなさい。

C つまり真の意味で悼むということは、戦争を経験した人だけではなく、様々な世代の人が受け入れてつないでいくことなんです。

D 堀田さんが「不謹慎に聞こえるかもしれませんが」と言ったのは、灯籠流しが死者を悼むための儀式であるにもかかわらず、

③

と感じたからですね。

E 堀田さんの手紙が蘇った希未には、それぞれの灯籠が命があるかのように輝き始めました。ここには、希未にとって灯籠流しが単なる慰霊ではなく、直接

は見知らぬ一人一人の命を目の前に感じ、その死をしっかりと受け入れていることが表れていますね。

F 吉岡先生は希未たちの作品の中に「あの日」まで日常を生き生きと生活していた人の物語を見ました。そして、

④

自分から一歩踏み出そうという思いで灯籠を作り始めたのですね。

G 「うつし絵」とは旅立つ人の似姿を心にも目にも留めようとして、影をうつしたのが始まりだということです。希未は、

⑤

に込めた吉岡先生の「受け入れて見送ること」「心に刻むこと」という思いが、「うつし絵」の伝承に重なると感じて、

⑤を「うつし絵」の一つの形と悟ったので

次の文章Ⅰ・Ⅱはともに梨木香歩の講演（二〇一五年）の記録『ほん

とうのリーダーのみつけかた 増補版』の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

※設問の都合により、本文に一部省略や改変があります。

Ⅰ

（本文省略）※著作権法上の手続完了まで省略します。

Ⅱ

（本文省略）※著作権法上の手続完了まで省略します。

問一 線①～③のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 映画『奇跡の人』について語っている一節の内容にあてはまるものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ヘレンに起こった奇跡を「群れに帰ってきた」ということばで言い表したのは、ヘレンの母親だった。

イ ヘレンの家族は自分たちだけではヘレンに人間らしい生活をさせることは困難だと思っていた。

ウ サリバンは、ヘレンの家族がヘレンを嫌って遠ざけたからヘレンがわがままに育ったのだと考えた。

エ ヘレンがナプキンをたたんだくらいでヘレンの母親が涙ぐんで見せたのは、本心から喜んだのではなかった。

問三

線(1)「仲間に入れてもらいたいと思う気持ちは、あたりまえのことなのだと伝えたいです。それは、私たちの本能なのだから、と」とありますが、その説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 群れは生きるために必要で、群れから絶対に外れてはいけない。

イ 群れに入るかどうかは生死を分けるほどの重要な問題である。

ウ 群れから外された時はずかしさは誰にとってもたえがたい。

エ 群れのリーダーになりたいと願う気持ちは、人間には生まれながらに備わっている。

問四

線(2)「ああ、やっちゃったよ、しようがないなあ、って、心のかたがためいきをついていればいいのです」とありますが、それはなぜですか。次の□にあてはまることばを、この後の文中から三字で抜き出しなさい。

それが自分を□することにつながるから。

問五

線(3)「自分のなかに自分のリーダーを掘り起こすって、どうやって？」とありますが、「他の人のなかに」でなく「自分のなかに」とあるのはなぜですか。答えなさい。

線(4)「同調圧力が生じた」とありますが、その説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 集団の中で強い存在や多数派に合わせるよう目に見えない力が働き、他と異なる考えや行動をとりづらくなった。

イ 過去のやり方を守るばかりで新しい考え方をくりだそうとはせず、前例にないことは認められなかった。

ウ 自分自身が先入観や固定観念に縛られていくことに気づかず、人の忠告に耳を貸せなくなっていた。

工 物事を多角的に深く考え込んでしまい、ぐずぐずと迷うために素早い決断や対応がとれなくなった。

問七

(5) にあてはまることばを文章Ⅰから抜き出しなさい。

問八

―線(6)「チーム・自分」とはどのようなことですか。文章Ⅰの中のことばをつかって三十字以内で説明しなさい。

問九

次の図は本書『ほんとうのリーダーのみつけかた 増補版』の表紙です。表紙の絵は本文の内容とつながりがあるとすると、どのような様子を描いたものだと考えられますか。答えなさい。

(画像省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

画 Ⅱ ひろせべに

カバーデザイン Ⅱ 後藤葉子

